

44号

平成29年

3月1日

発行

市民と議会を結ぶ広報紙



あさひ議会だより

発行／旭市議会 編集／議会だより編集委員会 〒289-2595 旭市二の1920 ☎0479-62-5304 FAX0479-62-5384 <http://www.city.asahi.lg.jp/>



おもな内容

新庁舎建設予定地が旭文化の杜公園内に決定	2～4
正副議長がかわりました	3
市政に対する一般質問(10人が登壇)	5～9
常任委員会の審査	10
行政視察報告	11
審議結果一覧	12

旭市飯岡しおさいマラソン大会

給水所では、旭市産いちごも用意され、お汁粉・豚汁の無料サービスや郷土芸能披露など、市民・地域をあげての「おもてなし」でランナーを励ました。

旭市役所の位置を定める条例を改正 市役所本庁舎の位置を旭文化の杜公園内に変更

第4回定例会のあらまし

平成28年第4回定例会が、12月2日から12月19日までの18日間の会期で開かれました。
この定例会には、平成28年度一般会計補正予算、条例の制定や人事案件など12議案が市長より提出され、原案のとおり可決されました。
なお、一般質問は12月8・9日の2日間の日程で行われ、10人の議員が登壇し市政全般にわたって議論が展開されました。

主な議案の内容と質疑

補正予算

(平成28年度)

▼議案第1号

平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ25億6,600万円を追加し、予算の総額を331億8,000万円とするものです。

問 定住促進奨励金は、1件50万円の交付金ですが、今年

度の申請件数等の状況は。

(林晴道議員)

答 今年度11月末時点で申請件数は36件、問い合わせ状況は20件程度あり、10件分の補正をお願いするものです。

問 保育士配置改善事業費補助金はどのような内容なのか。

(伊藤保議員)

答 民間保育所において、予備的に配置された保育士1名に補助するものと、生後3ヶ月未満の乳児や障害のある児童の

受け入れのための保育士1名の配置について補助するものです。



千潟町中央保育園の保育士と園児たち



問 水田自給力向上対策事業補助金の引き上げ理由は。

(伊藤保議員)

答 この事業は、千葉県が飼料用米を推進するため、主食用品種を飼料用米にする場合の

問 補助金額を10a当たり、1,500円から3,000円に引き上げたため、補正するものです。農地集積協力金の増額の具体的な内容は。

(伊藤保議員)

第4回定例会の日程

12月2日(金) (開会)

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明

12月6日(火)

- 議案の質疑

◇追加日程

<討論・採決>

- 常任委員会へ議案を付託
- 常任委員会へ陳情を付託

12月8日(木)

- 市政に関する一般質問

12月9日(金)

- 市政に関する一般質問

12月13日(火)

- 建設経済常任委員会

12月14日(水)

- 文教福祉常任委員会

12月15日(木)

- 総務常任委員会

12月19日(月)

- 常任委員長の議案報告
<質疑・討論・採決>
- 常任委員長の陳情報告
<質疑・討論・採決>
- 事務報告

◇追加日程

- 議長辞職の件
- 議長選挙の件
- 副議長辞職の件
- 副議長選挙の件

(閉会)



向後悦世副議長



佐久間茂樹議長

平野忠作議長と島田和雄副議長の辞職に伴い12月19日の閉会日に、正副議長選挙が行われ議長に佐久間茂樹議員、副議長に向後悦世議員が選出されました。

議長に佐久間茂樹議員
副議長に向後悦世議員を
選出

条例の一部改正

▼議案第4号

旭市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定について

市役所本庁舎の位置を、旭文化の杜公園内の一部に変更するものです。

問 都市計画公園の変更手続きについて、替わりとなる公園面積の確保と、旭文化の杜公園建設時の国庫補助金1億1,800万円の返還について、国、県との協議の状況は。

(高橋秀典議員)

答 農地の貸し借りのマッチングの成立が31戸増加し67戸、2,820万円の見込みとなり補正をするものです。



築後50年を経過した現本庁舎

答 都市計画公園の変更については、現本庁舎の敷地と矢指地区に事業を進めている築山の面積を補完することで協議が調っているところです。築山を他の補助金を活用しないで整備することで、国庫補助金返還は要さない見通しです。

問 補助金の返還について国、県との協議が調っていること

とは決定なのか。また、庁舎の計画は平成17年からあり、旭文化の杜公園を候補地に挙げるのであれば、公園の工事をストップするべきではなかったか。

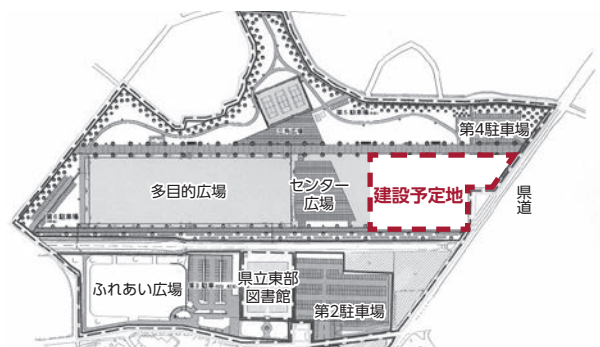
(有田恵子議員)

答 補助金の返還については、財産処分等の基準により、新たに補助金を受けずに代替施設の整備をする場合、国庫納付を要しないという記述があり、協議をしました。

庁舎の計画は、震災後、必要となったということで、平成24年から本格的に進めてきたという状況です。

問 公園を庁舎用地とすることに対して、当時土地を手放した地権者への説明と、近隣に及ぼす影響を調査し、住民に説明をしていただきたい。

また、旭文化の杜公園のイ



新庁舎は文化の杜公園内に決定

チヨウ並木などの景観は維持されるのか。

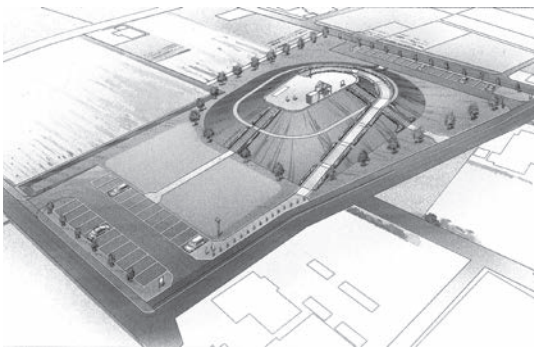
(林晴道議員)

答 地権者には、決定となれば、速やかに説明したい。また、近隣に及ぼす影響は、設計業務の中で調査を行い、周辺住民に説明したいと考えています。

イチヨウ並木などはしっかりと維持していかなければと思っています。

問 旭文化の杜公園は必要としたから土地を取得したのに、どのような計画をしていたのか。また、代替公園はどのような計画なのか。

(高橋利彦議員)



矢指地区に建設予定の築山イメージ図

答 旭文化の杜公園の計画は、平成13年に都市計画決定し、まちづくり交付金により、当時の社会資本整備ニーズの高くなっている防災機能などを加えて、現在の旭文化の杜公園を整備したものです。

代替公園については、現本庁舎跡地の一部施設を防災備蓄倉庫に転用し、最低限の整備を考えています。また、築山は、少なくとも500人の方が避難して、仮に津波が発生した時には、その上に一時滞在できる形になるものと考えています。

問 代替公園といわれている現本庁舎を壊した後の活用と、周辺をどのように整備するのか。
(伊藤保議員)

答 現本庁舎は、芝生の広場などを予定しています。また、通学路など安全確保のために敷地部分をセフトバックするなども考えています。

問 2014年に決定したいと答弁していたが、なぜ2年間遅れたのか。

また、なぜ築山を最初から都市公園としなかったのか。

答 2年間の遅れについては、さまざまな協議を進め、特

本会議での討論

12月19日の本会議において、

議案第1号 平成28年度旭市一般会計補正予算及び議案第4号 旭市役所の位置を定める条例の一部改正に対する討論がありましたので要約して掲載します。

《反対討論要旨》

議案第1号

一般会計補正予算のうちの農業用災害復旧費、約2,424万円について反対します。
台風で、農業施設が壊された

に都市公園の減らした面積を確保する議論を県と協議してきました。築山は、復興計画にあり、都市計画決定しなくてもできますが、都市計画決定したほうが有利となるので協議を進めてきたところです。

▼議案第12号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

宮本英一氏 下永井 再任

施設園芸農家に、最大で被害額の7割が補助金で賄われるようですが、周知は6日間だったそうです。申請は9件あり、申請者は新聞やホームページを見たから申請したようです。このような補助制度を知らなかった農業者が大半だと思います。行政として、あまりにも不公平で速やかに是正してもらいたい。

議案第4号

(滑川公英議員)

旭市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定について反対します。

旭文化の杜公園の用地取得には、先祖代々の土地を、公園を造るということで、提供してくださった地主が多くいると聞いています。そして、文化の杜公園が完成して、1年もたたない平成25年2月に、庁舎建設の候補地、これではなぜ公園を造ったのか、まったく無計画きわまりありません。公園内の新庁舎建設予定地とされる1ha^(ヘクタール)につき込まれた税金は無駄になってしまします。事業費に含まれる国庫補助金1億1,800万円の返還をしなくて済む場合であっても、造った公園は無駄になります。人口減少に向けて、節約できるところは節約するのが道理ではないのでしょうか。

私たちは、市民の代表であり、地域の代表でもあります。慎重な判断をお願いします。

高橋利彦議員
有田恵子議員
滑川公英議員
※登壇順

《賛成討論》

議案第4号

新庁舎建設場所については、

4か所の候補地からさまざまな条件を総合的に判断し、旭文化の杜公園の一部を建設予定地とし、市民会議で回答が出され、パブリックコメントや地区懇談会を経て絞りこんできたものです。また、旭文化の杜公園は、建設時の補助金返還と、代わりになる公園の面積を確保しなければならぬという2点が課題でしたが、復興計画に基づき建設予定となっている築山を公園面積に充てることで、補助金の返還が無用となる見通しが立つたということであれば、防災拠点としての機能を高めることができ、庁舎建設位置としてベストであると考えています。なお、上下水道も既に完備され、庁舎建設基金や平成37年度まで延期された合併特例債などを使い、無理のない資金計画を立てることができ、このような好条件は二度となく、旭文化の杜公園において新庁舎を早期に建設されるよう要望します。

伊藤保議員
高橋秀典議員
宮内保議員
※登壇順

一般質問



市政に関する一般質問は12月8・9日の2日間行われ、10人の議員が登壇しました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

新庁舎

建設手法の方式は

(滑川公英議員)

問

市民会議で総工費は精査していないとのことでした。建設手法として従来方式*PFI方式、DBO方式、DB方式がありますが、市民会議資料ではPFI方式は新庁舎建設手法には向かないと断定し、他の方式の検討すらしなかったのはなぜなのか。

答

総工費についてはワーキンググループの中でも、4方式を比較検討しています。この中で調査を行いながら、市庁舎の性質、柔軟に変更できること、維持管理の必要性、合併特例債と基金で賄われることを考えると、PFI方式のメリットは比較的少ないという結論を出し、それを盛り込みながら次の基本構想につなげていったということです。

※PFIとは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のこと。



日の出保育所隣接地に整備する築山の予定地

正しい情報が周知されていないのでは

(有田恵子議員)

問

新庁舎候補地4か所の概要の中で、現庁舎のデメリットとして駐車場の借り上げを載せていますが、文化の杜公園の場合は、職員用駐車場はデメリットの欄には載せていません。さらに、文化の杜公園にした場合、国庫に補助金を返還すること、また返還しない場合には、代替公園を用意する等のごとは載せていません。パブリックコメントの数も少なく、基本情報が不正確、不公平ではないか。

答

平成26年8月のパブリックコメントの段階では、建設地が文化の杜公園になった場合の職員駐車場は、現庁舎の跡地を想定していました。代替公園は、その段階ではまだ全然見えていなかったということ、記載していません。現在も市のホームページで資料を掲載し、いつでも閲覧、ダウンロードできるようにしています。

旭文化の杜公園とする理由は

(米本弥一郎議員)

問

市長に、旭文化の杜公園を新庁舎の建設場所とする理由をお伺いします。

答

庁舎は、市民が集い、にぎわう暮らしと文化の中心の場でなければならぬと考えます。市民サービス、文化の中心拠点として、地理的条件、周辺の環境、近隣施設との利便性、将来を見通した交通アクセスや敷地への接続道路等の条件何よりも景観上すばらしい場所ということも含め、総合的に判断し、利便性と防災面の相乗効果が最も期待できる旭文化の杜公園としたものです。

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



林 晴道
議員

- 1 学校給食について
- 2 すこやかシニアクラブ旭について
- 3 芸術文化の振興について
- 4 市のイベントについて
- 5 市の知名度向上について



滑川 公英
議員

- 1 国民健康保険について
- 2 インバウンド4,000万人の取り組みについて
- 3 新庁舎用地問題について
- 4 合併特例債について



高橋 利彦
議員

- 1 新庁舎用地について
- 2 市政執行にあたっての市長の見識について



新庁舎建設予定地の文化の杜公園

移転に合わせ改革を

(高橋秀典議員)

問 市民の利便性向上のために、庁舎移転のタイミングに合わせ、ワンストップで来庁者に対応可能な総合窓口を作ることが求められます。また、庁舎移転はサービス改革・業務の改革・組織の改革など、大改革を行うまたとないチャンスです。移転を機にそうした一連の改革を行う考えは。

答

今後策定する基本計画の中で、窓口業務については、市民の利用の多い課を1階に配置し、関連する課を近接

させ、総合案内を設置するなど、きめ細やかで迅速な対応ができるように計画していきたいと考えています。

改革については、市民サービスの向上、行政の効率化を図る上でも、この機会を逃さずに取り組んでいきたいと考えます。



新庁舎移転に合わせ窓口改革も(現在の本庁舎受付)

市民体育祭

体育祭の見直しを

(林晴道議員)

問 今回は開催中止の判断が、非常に遅かったと感じます。準備を重ねてきた区の役員

さん方も、参加者に大変申しわけなく思っているようでした。体育祭の参加者を募るのが非常に難しいとの声をよく耳にしますが、来年度以降も開催するの

であれば、オープン参加にすることや、地域対抗にしたいのならば実行委員会のできる範囲で行い、区長さん方に負担のかからないイベントでなければと思います。

答

市民体育祭の開催に当たり、スポーツ推進委員会や青少年相談員、PTAの体育委員会等の現場で活躍している方々に組織をつくっていただき、選手を選考してもらいたいと指示をしてきたところです。今後、実行委員の皆さんにその方向で頑張っていたいただきたいと思います。

国民健康保険

県単位移行の進捗状況は

(滑川公英議員)

問 平成30年度からの県単位移行が予定されていますが、どのような進捗状況なのか。

答

旭市は県内の市町村で保険税の安さでは最右翼ですが、旭市のよさが埋没する懸念はないのか。県は市町村ごとに負担すべき保険税等を決めることになり、1人当たりの医療費が低いほど負担が低くなるとしているので、医療費の低い旭市が不利になることはないと思われま

今後のスケジュールは、平成29年2月ごろに、29年度として仮定した場合の納付金が県から提示されます。また、29年度前半に県としての国保運営方針の内容提示、30年1月に運営方針及び納付金が決定され、県から示される予定と伺っています。

下水道

利用者を増やす対策は

(高橋利彦議員)

問

住民の意思にかかわらず、市が法律の網をかけて造った下水道の利用者は56%で1,700戸、そして毎年一般会計から3億円から4億円の繰り出し、戸当たりしますと23



伊藤 房代
議員

- 1 介護予防について
- 2 学校給食について
- 3 まちの地域づくりについて



伊藤 保
議員

- 1 校務支援システムについて
- 2 道路環境整備について
- 3 耐震対策について
- 4 スポーツ公園について



有田 恵子
議員

- 1 新庁舎建設について
- 2 市有財産の管理について
- 3 飯岡中学校校舎外構工事について



木内 欽市
議員

- 1 農業問題について
- 2 台風の被害状況について
- 3 工業団地について
- 4 市バス、コミュニティバス

万円から24万円です。まさに税金のどぶへの垂れ流し。それにもかかわらず、全くの無為無策、どのように考えているのか。

答

広報紙やホームページでも接続のお願いをしています。戸別訪問も主に休日に実施しています。戸別訪問では、下水道事業を説明して、接続をお願いしていますが、接続の工事費の負担や、現状の浄化槽で不便を感じないとの理由から、なかなか結びつかないというのが現状です。

行政改革

定員適正化計画の根拠は

(高橋利彦議員)

問

銚子市の職員は592人、旭市は623人、旭市のほうがだいぶ多くなっています。また、定員適正化計画は何を根拠にしているのか。

答

第1次定員適正化計画は退職者の3分の1、第2次は退職者の2分の1をおおむねの基準として減員を進めてきました。第3次は、最大限減ら

せる人数で40人としたところで

銚子市とは、単純に比較だけではなく、それぞれの市が行う事業、施策によって、人数は変わっていくということです。例えば、旭市は農水産業を非常に振興しています。その部署でいけば、銚子市より十何人か多いはず。また、市役所の職員を目標して大学を出てくるわけであり、門戸を少し広げておきたい部分もあります。

耐震性のない公共施設の今後は

(伊藤保議員)

問

耐震性のない公共施設の今後の対策を、どのような形で進めていくのか。

答

公共施設等総合管理計画で、施設の耐震化を旭市耐震改修促進計画にのっとり進めていくとしています。既に、廃止や建てかえの方策が決定している施設は、住民や利用者への周知を図るとともに、速やかな機能移転による施設利用の休止・停止措置を検討するほか、解体・更新を実施すると明記しています。公共建築物は新規整



昭和46年に建築された青年の家体育館

備を抑制して、施設を更新する際は、複合化や集約化、他の施設への用途変更などで有効活用を推進すると、現在、各施設の個別計画を作成しているところです。

福祉

介護予防の取り組みを

(伊藤房代議員)

問

青森県平川市では、転倒予防に効果的な「てんとうむし体操」を取り入れ、普及啓発に努めていると見受けました。その結果、平川市では、

介護を必要としない元気な高齢者が増えているとの報告がありました。

旭市としても、地域の集会所等を開放して、介護予防のために体操するように提案してはどうでしょうか。

答

旭市では現在、地域住民主体の通いの場の設置を推進しており、その中で介護予防のための「あさピー☆きらり体操」の活用を呼びかけているところで、高齢者の転倒防止のための筋力アップトレーニングも含まれています。今後は、広報等で周知し、高齢者の皆様の参加を促していきたいと思っています。



あさピー☆きらり体操で介護予防(馬場西部会館にて)

5 について
安心、安全なまちづくりに



太田 将範
議員

1 介護保険と新総合事業について

2 旭市の住宅政策について
3 マイナンバー制度について



米本 弥一郎
議員

1 新庁舎建設事業について
2 財政について
3 人口減少対策について

4 市職員の健康管理について



高橋 秀典
議員

1 平成29年度予算について
2 新庁舎の機能について
3 区・自治会の活性化について
4 総合戦略について

新総合事業の内容は

(太田将範議員)

問 旭市介護予防・日常生活支援総合事業はどういう内容なのか。事業の中身についてご説明をいただきたい。

答 旭市介護予防・日常生活支援総合事業は、平成28年3月から始まり、デイ・サービスである通所介護サービスとホームヘルパーが訪問する訪問介護サービスが市の所管事業となり、当該事業所の新たな新設許可を、県から市で行うということになったものです。

新総合事業の現状は

(太田将範議員)

問 平成28年3月より、介護保険から移行した新総合事業の現状について、通所介護と訪問介護がどういう形で運営されているのか。

答 介護保険から移行した新総合事業の現状ですが、平成28年9月現在、訪問介護サービスの利用者が95人、通所介護サービスが166人です。それから市が独自に行っている通所型サービスA、これはミニ

デイ・サービスと筋力向上のデイ・サービスですが、その利用者が150人となっているとこ

世代間交流に 予算措置を

(林晴道議員)

問 高齢期を楽しく生きがいを持って暮らしていただくには、健康で、身近な仲間と支え合う地域づくりが必要です。そこで、シニアクラブに参加したくなる魅力のある事業やクラブに加入しやすい制度の考えと、会員の豊富な知識や経験、技能等を生かして、小・中学生などとの世代間交流を拡大すべきで、そのため学校への予算措置をお願いしたいと考えます。



答 アンケート調査の実施や、老人クラブ以外の団体との事業共催など、クラブの加入促進を検討したいと考えています。また、子どもたちとの交流は取り組んでいますでしたの

で、今後関係各課と協議をして、やっていければと思っています。

高齢者の利用を 無料化に

(伊藤保議員)

問 いいおかふれあいスポーツ公園は、仮設住宅撤去後、きれいに整備され、有料施設であるとの看板が立ったようです。ここでは高齢者の健康促進にグラウンドゴルフをやっていますので、高齢者が練習する時、無料化や減免措置ができませんか。

答 この公園は、サッカー場、ソフトボール場、多目的広場を備えた施設です。これまでも有料施設として貸し出されており、使用料免除での大会等も実施されてきました。3施設の外周部分は遊歩道として無料でご利用いただけます。

看板には、事前予約が必要である、有料施設であるなどの表示をし、利用者へ利用方法等の注意を行うために設置したものです。利用料ですが、利用団体の利用目的等により、利用料免除で使えます。その場合は、ご相談いただきたいと思います。



いいおかふれあいスポーツ公園

教育

給食費の無料化を

(伊藤房代議員)

問 市内の小・中学校に在学している児童・生徒が3人以上の場合は、3人目が給食費減免率50%、4人目以上は減免率90%となっています。現在、少子化の時代、3人、4人の子

答 現在、旭市総合戦略の重点施策に子育て支援として、近隣の市町にも負けない支援をしているところ

です。来年度予算で、第3子以降の学校給食費の無料化を実施し、学校給食を通して子育て世代の経済的負担の軽減や少子化対策として、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりの推進を図っていききたいと思っています。

契約

議決前に 工事をした理由は

(有田恵子議員)

問 飯岡中学校校舎外構工事にウエルポイント工事を着工させたということです。重要な工事は、その都度速やかに承認を得ることと国土交通省、千葉県、西土木工事ガイドラインで明記されています。議会の議決前に工事をした理由は。

答 国土交通省が策定した建設業法令遵守ガイドラインの中で、追加工事の全体数量が確定できない等の理由により、

契約することが不合理な場合は、内容が確定した時点で遅滞なく行うことができるとあります。

併せて、県作成の土木工事請負契約に係る設計変更等ガイドラインの中で、軽微な設計変更に伴うものは、工期の末をもって足りるとされています。

農業

イノシシ対策を

（木内欽市議員）

問 イノシシによって農業が被害を受けています。早く

くしないとどんどん繁殖し増えてしまいます。すでに市原市や茂原市あたりでは手の付けられない状況で、旭市の対応は遅すぎると思います。匝瑳市あたりと連携してやれば、まだ間に合うと思いますが、早急に駆除する考えはないのか。

答 旭市でも目撃情報や被害等の報告があり、対策を行っていく必要があると考えています。旭市鳥獣被害防止計画にイノシシ対策を位置づけ、今後は市内の生息区域調査を猟友会に委託する予定です。また、

猟友会や関係団体で構成する旭市鳥獣被害防止対策協議会を設立し、平成29年度には、箱わな等を購入して、イノシシの捕獲をしていきたいと考えています。

コミュニティバス

運賃の据え置きを

（木内欽市議員）

問 コミュニティバスの乗車実績の分析や運行ルート、ダイヤ及び運賃改定等について

検討することのだが、生活弱者にとって、値上げは本当に困ります。この事業は合併のおかげでできたシステムであり、本当に喜ばれています。交通弱者のために、値上げという考えはやめていただきたいが。

答 地域公共交通会議の中

でも、議論は何度かしています。コミュニティバスは当然収益を目的としている事業ではなく、交通弱者を対象に考えているのですが、税の均衡性、受益者負担の原則から、いくらが妥当かという議論にはなっています。

今後、デマンドタクシー等の

導入など、超高齢化社会の中で、引きこもりの防止や買い物難民対策等も考慮して議論していきたいと思っています。



100円で乗車できるコミュニティバス

財政

毎年度の財政推計を

（米本弥一郎議員）

問 近い将来、実質単年度収支が赤字となり、その後

は財政調整基金の取り崩しが見

込まれるという財政の転換期を迎えます。そのため、一定期間の財政推計をしたらその第1年度の終了時には推計の見直しをして、新たな年度の推計を加えて、常に一定期間の財政推計を持つてはいかがでしょうか。

答 財政推計につきましては、現在、見直しをかけているところです。財政推計というのは、将来を見据えた持続可能な財政運営のためには必要不可欠なものであると認識をしています。今後も、市の主要計画を策定する時点、あるいは財政状況に大きな変化が見込まれる時には見直しをかけていきたいと考えています。

総合戦略

議会の議決事項に

（高橋秀典議員）

問 平成28年2月に策定され

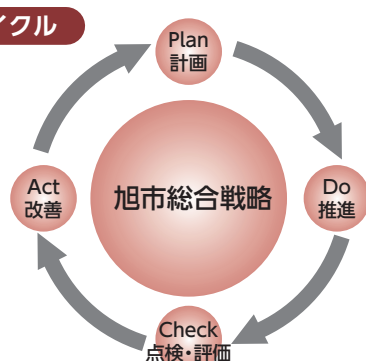
た総合戦略は、旭市では議会での議決事項となっていない。地方自治法96条第2項に基づき議決事項とすべきだと思います。近隣の例とお考えを伺います。

答

総合戦略は従来の基本計画に代えて策定したもので

すが、基本計画を議決事項にしているのは、近隣では鉾田市、匝瑳市、成田市です。議決事項としなかったのは、PDCAサイクルによって不断の見直しを行うもので、市民・学識経験者からなる懇談会の検討結果であることなどがあります。しかし、策定に関する議会の関与は不可欠なものと考え、どの計画でも策定の折には議会の全員協議会で説明をし、ご意見を伺い、これを反映した計画にするというプロセスを行っていききたいと考えています。

PDCAサイクル



常任委員会の審査

建設経済常任委員会

12月13日(火) 午前10時～
2議案の審査

建設経済常任委員会審査の様子



文教福祉常任委員会

12月14日(水) 午前10時～
2議案の審査

総合体育館を視察する文教福祉常任委員会委員



総務常任委員会

12月15日(木) 午前10時～
9議案の審査

消防本部を視察する総務常任委員会委員



議案第1号

平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問

地域農業経営再開復興支援事業の農地集積
協力金について、補助金の基準は？

10アール未満と10アールから1ヘクタール
未満が10アールあたり5万円、1ヘクタール
以上2ヘクタール以下は50万円、2ヘクタ
ールを超えると70万円になっている。

議案第3号

旭市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員
の定数に関する条例の制定について

問

農地適正化推進委員の地区割りと人数はど
うになるのか？

農地面積や認定農業者数等を考慮した上で
検討していきたい。

審査の結果

議案第1号は賛成多数、議案第3号は全員賛成で、
原案のとおり可決
委員会の審査終了後、海上配水塔を行政視察

議案第1号

平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問

保育士配置改善事業について、民間保育所
の保育士の処遇は改善されているのか？

これまでの処遇改善の事業などで、国が
想定している水準にまで改善が進んでいる。
また、対象外の予備的保育士の配置は、こ
の配置改善事業を活用し支援していきたい。

問

海上公民館の改修工事について、この時期
に補正した理由と工事の完了時期は？

災害時の指定避難場所に指定されているた
め、早期に工事を行う必要がある。また、有
利な起債があるため、この時期の補正となっ
た。工事の完成は6月上旬を見込んでいます。

審査の結果

委員会付託の2議案について、全員賛成で原案の
とおり可決
委員会の審査終了後、総合体育館メインアリーナ
の空調設備を行政視察

議案第4号

旭市役所の位置を定める条例の一部を改正する条
例の制定について

問

今後、震度6弱前後の揺れが起こる確率が
80%を越えており、新庁舎が被災を受ける
可能性がある。十分な検討をしたのか？

対策を十分に立てる必要がある、構造など、
設計の中で十分に検討していく。

問

都市計画公園の変更と補助金の返還につい
て、国、県との協議経過は？

文化の杜公園周辺地域に新たな公園を整備
する必要がある。現庁舎跡地と矢指地区の
築山公園を都市公園とすることで、補助金
の返還を要さない方向で協議を進めている。

問

審査の結果

議案第4号は賛成多数、そのほかの議案について
は全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決
委員会の審査終了後、消防本部及び市内の公共施
設の耐震化の状況を行政視察

行政視察報告

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会は、10月5日から7日まで、石川県七尾市、富山県高岡市に行政視察に行きました。

石川県七尾市では、全国的に有名な和倉温泉やリゾート施設を有する能登島があり、スポーツ合宿の誘致を積極的に行っています。首都圏や関西圏へのPR活動も行い、利用者は年々増加傾向にあると、この事業は成功しているように感じました。

文教福祉常任委員会

文教科福祉常任委員会では、10月18日から20日まで、青森県平川市、秋田県鹿角市へ行政視察に行きました。

青森県平川市では、介護予防に効果的な体操「てんとうむし体操」を取り入れて、その普及啓発に努めていました。その結果、平川市では、介護を必要としない元気な高齢者が増えていくとのことでした。



七尾市を視察した建設経済常任委員会委員

秋田県鹿角市では、児童生徒学力向上対策事業を視察しました。学力検査及び知能検査を実施し、学力の把握により児童生徒一人一人の能力に応じた教育を進め、学力の向上を目指すも



鹿角市を視察した文教福祉常任委員会委員

総務常任委員会

また、鹿角市文化の杜交流館「コモッセ」の施設見学では、子どもから高齢者まで、世代を超えた多様な交流活動を通じ、まちなかのにぎわいを創出することを目的とした施設でした。

総務常任委員会では、11月9日から11日まで、沖縄県中城村、うるま市、名護市に行政視察を行いました。

中城村は、琉球大学の村内移転があり、人口増加が続けていました。行政としても、子育て支援に力を入れ、移住者も増えているようです。

うるま市では、新庁舎を視察しました。新庁舎は全面ガラス張りであるとのことですが、日差しが当たり、冷房代が

かなりかかるということです。また、吹き抜け部分もかなり取ってしまい、全体的に狭く、売店を作るスペースが取れなくなっていました。さまざまな声を取り入れた結果、使いづらい庁舎になってしまったと話していたのが印象的でした。

名護市では、窓口業務の民間委託を実施していました。メリットは、高品質なサービスの提供に安定した雇用機会の拡充、定員整理の適正化とコスト削減で、窓口業務に当たっている委託職員は好評判で、今後も委託業務の拡充を考えているとのことでした。



中城村を視察した総務常任委員会委員

議会運営委員会

議会運営委員会は、11月16日から18日まで、広島県三原市と三次市に訪問し、議会改革と議

会運営について、行政視察を行いました。

三原市では、反問権を導入していました。執行側が議員側に質問の趣旨を確認する程度に行使でした。また、議員間の自由討議を行っており、議員同士が理解を深め、その結果を市民に説明して理解を得ているとのことでした。

三次市では議員報酬に対して、議長、副議長、各常任委員長、副委員長にも特別手当が導入されていました。

両市とも、議会基本条例を導入し、3年前から議会報告会を開催していました。初年度は多くの市民の参加がありましたが、年々参加人数が減ってきており、減少対策に苦慮しているとのことでした。



三次市議会を視察した議会運営委員会委員

平成28年第4回定例会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対 早=早退 議=議長 ※議長は採決に加わりませんが、議案第4号は出席議員の3分の2以上の同意が必要な特別多数議決であり、議長も表決権を有しています。

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
			林高橋晴道	高橋秀典	米本弥一郎	有田恵子	宮内保	磯本繁	飯嶋正利	宮澤芳雄	太田将範	伊藤保	島田和雄	平野忠作	伊藤房代	林七巳	向後悦世	景山岩三郎	滑川公英	木内欽市	佐久間茂樹	林俊介	高橋利彦	林正一郎
市長提出議案																								
1	平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
2	平成28年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	旭市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	旭市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○
5	旭市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	旭市議会の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例附則第5項の規定によりなおその効力を有するものとされる旧旭市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	旭市一般職の職員の給与に関する条例に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	旭市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	早	○	○	○
陳情																								
6	旭市市道降雨による冠水被害及び畑地への砂利等の流出に関する陳情について	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

詳しくは議会事務局へ
FAX 62・5384
TEL 62・5304

平成29年第1回定例会が3月1日から行われます。議会開会中は、議会を傍聴することができます。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、千湯公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の模様を放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継及び議事録の公開をしています。

さらに、議会録画中継（本会議も日程終了後のおおむね7日程度で視聴することができまので、ぜひご利用ください。

議会を
傍聴
しませんか

春の語源は、草木の芽が「張る」季節から、田畑を「墾る（はる）」季節から、気候の「晴る」が転じて、と諸説あるようです。いずれも大きくなる、伸びていくという前向きなイメージです。

今月は保育所・幼稚園、小・中・高校で修了式・卒業式が挙行され、子どもたちが巣立っていきます。季節も未来を担う子どもたちを祝福してくれています。

市では新庁舎を旭文化の杜公園に建設することが決まりました。新庁舎が、市民の「役」に立つ「所」となるよう期待します。

いつもあさひ議会だよりをお読みいただきありがとうございます。市民に親しまれる議会だよりの編集に努めてまいります。

（委員・米本弥一郎）

旭市議会だより編集委員会

委員長 高橋 秀典
副委員長 宮内 保
委員 米本 弥一郎
委員 林 晴道

編集後記